

令和8年度 第1回甲賀市下水道審議会 概要報告

1. 開催日時 令和8年7月15日（水） 午後2時00分から午後3時35分まで
2. 開催場所 甲賀市役所 別館1階 101会議室
3. 議事 令和7年度甲賀市下水道事業会計決算について
令和7年度一般会計（浄化槽関係等）決算について
琵琶湖流域下水道（湖南中部処理区）関連 甲賀市（土山処理区）公共下水道事業計画の変更について
甲賀市公共下水道ストックマネジメント（第2期）計画の概要について
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 出席者
委員 的場委員、金森委員、藤田委員、本松委員、波多野委員、青木委員、植西委員、奥山委員
以上 8名
事務局 上下水道部 西田部長、山中次長
下水道課 門坂課長、岩田課長補佐、中川係長、本田係長、田村係長
上下水道総務課 伴課長、山本課長補佐、松本係長、吉川係長
6. 傍聴者数 0人
7. 会議資料 別紙のとおり
8. 議事の概要

○出席委員数の報告

出席委員は、10名中8名で、委員の過半数の出席であることから、甲賀市下水道審議会規則第4条第2項の規定により、会議が成立していることを事務局から報告

○会議内容の公開又は非公開について

会長 本日の、会議内容の公開、非公開についてであります。当審議会は市の附属機関にあたりますので、公開が原則であります。

本日の資料には個人情報等非公開にしなければならない内容は含まれていませんので、全て公開とし、議事録での発言者は個人名ではなく、委員として公開させていただきます。

（全員異議なし）

○議事、報告事項

事務局 —— 令和7年度下水道事業会計決算について

資料に基づき説明

(質疑)

委員 収益的収支の収入において、他会計補助金(一般会計からの繰入金)が前年度より減っている理由を詳しく教えてほしい。

事務局 基準に従って算出すると、企業債の利息や対象経費の減少に伴い、毎年一般会計からの繰入金は減少する傾向にありますが、農業集落排水の基準外繰入金で確保しています。最終的な公共下水道と農業集落排水を合わせた合算ベースでは、前年度より約550万円の微増となっています。

委員 工事一覧において、新設(建設)工事と改良工事の金額やバランスはどうなっているか。

事務局 建設工事は約9億円であり、信楽町長野地区の整備が約6億円、雨水幹線整備が約3億円、改良工事は約3億2,000万円です。現在は長野地区の新設整備を主に進めていますが、今後はストックマネジメント計画に基づく改良・更新なども増えていく予定です。

委員 前年度の審議会において、「料金改定を行うことにより他会計補助金を削減していき、令和16年度を目途に3割削減する」との方針だったが、資料1-2の収支計画ではどうなっているか。

事務局 令和9年度以降の他会計補助金のうち基準外繰入金を通常通りに算出される額からトータルで約30%減額する形で収支計画に反映させています。

委員 未収金への対応として強化したことはあるか。

事務局 使用料徴収は業務委託しているお客様センターと連携しながら、近年は少額滞納者の方に対し、現年度分をできるだけ早くお支払いいただくことを心掛けているところです。現年度分を翌年度に繰り越さないよう取り組んでおり、少しずつ実を結んできつつあると考えています。また、法令に基づき、行方不明の方、破産された方など、どうしても回収できない使用料を不納欠損として処理していますので、未収金が少しずつ減ってきています。

委員 貸借対照表にある流動資産の現金預金が約3億円減少している理由は何か。

事務局 現金預金は約3億600万円減少していますが、流動負債の未払金は前年度比約3億5,600万円の減となっております。これは令和6年度より年度内に支払い終えた額が多かったということであり、その分現金が減少していることは瞬間的な資金移動によるもので、実質的な収支悪化ではないと考えております。

- 事務局 — 令和7年度一般会計（浄化槽関係）決算報告について
資料に基づき説明
- （質疑）
- 委員 （質問なし）
- 事務局 — 琵琶湖流域下水道（湖南中部処理区）関連 甲賀市（土山処理区）公共下水道事業計画の変更について
資料に基づき説明
- 委員 土山のオー・デュ・プールの工事が完了したと決算で説明があったが、事業計画ではさらに7年延伸されているのはなぜか。
- 事務局 土山の処理場の整備は一旦完了しましたが、管渠が未整備のエリアや老朽施設更新・耐震化事業などが残っています。国庫補助金を確保するためにも事業計画を延伸しています。
- 事務局 — 甲賀市公共下水道ストックマネジメント（第2期）計画の概要について
資料に基づき説明
- 委員 第1期計画の未執行分（積み残し）や耐震化の検討状況はどのようになっているのか。
- 事務局 第1期計画に積み残しはなく、当初の計画通りに実施いたしました。耐震化についても第2期計画の中で年次的に更新等を進める計画を立てています。
- 委員 昨今の資材費や物価高騰はどれくらい考慮しているのか。
- 事務局 現在、物価高騰分として1割程度考慮しています。流動的なところはありますが、今は何とか入札を行い、落札できている状況です。
- 事務局 決算の説明時に見ていただきました収支計画では、当時の物価高騰として約2%を見込んでおりました。昨今の中東情勢による物価高騰はそれを遥かに上回る規模ですので、料金改定の第2段階を検証するタイミングで、物価高騰部分について再度の精査、検証が必要であると考えております。
- 事務局 — その他

使用料改定にかかるホームページ等による広報

- 委員 汚水管と雨水管を合わせて下水道管と言うので、下水道管という表記は汚水管にした方が良いと思う。
- 事務局 ——— その他
下水道施設包括的維持管理業務委託について
- 委員 現行3年間の包括的維持管理業務委託の総括等を行う予定はあるか。
- 事務局 現時点では考えておりません。包括的維持管理業務委託することで経費削減、職員の負担軽減にはつながっておりますことから、引き続き業務委託としたいと考えております。
- 委員 現行の業務委託を発注した際の応募数はどうか。
- 事務局 応募は1社でした。
- 事務局 ——— その他
下水道施設の見学について
- 委員 ぜひ実施してください。
- 事務局 その他、ご意見ありますでしょうか。
- 委員 冒頭のあいさつで、信楽町長野ハイランド地先の土砂崩れで下水道管は民間管理の施設とのことだが、雨水の滞留が土砂崩れの要因の一つになっているとの話から雨水の排水を促すことが必要となった場合、実施するのは民間か、行政どちらになるのか。
- 事務局 雨水対策は行政の問題であり、建設部が中心となって対応しております。現在、応急的にポンプを設置して調整池に水が溜まらないよう排水対応を行っており、市災害対策本部を中心に今後の本復旧・災害対策工事を迅速に進める予定です。
- 委員 浄化槽について、下水道が整備された地域は浄化槽が減っていくのか。浄化槽が多いところは、下水の普及率が低いということか。
- 事務局 甲賀市の汚水処理は「公共下水道」「農業集落排水」「浄化槽」の3つで成り立っています。公共下水道と農業集落排水の普及率と浄化槽の普及率、これらを合わせた全体が市の汚水処理人口普及率となります。

事務局

他にご意見・ご質問もないようですので、本日の会議を終了いたします。